

フレンドシップラジオ 20120325・0330放送

藤井寺キリスト教会 牧師 池田 豊

お金の管理(1) 歴代誌第一 29:1-19

[導入]

I. 管理とお金

A. スチュワードシップ：管理を意味する語

1テモテ6:17-18

B. 管理の本来の意味

C. 任されている財の中から主にお返しする

1. 献げるという言葉

2. ルカ12:20の金持ち

ルカ12:15-21

II. 自由に自ら進んで献げる献げものに見る七つの特徴

1歴代誌29:5b

1歴代誌29:9

A. 創造主のお働きのために献げるのであって、人にではない

1歴代誌29:1

B. 主を愛する心から献げるのであり、主の栄光のために用いられることを喜びに感じるからこそ献げる

1歴代誌29:3

C. 自ら進んで献げる献げものには、喜びがある

D. 献げる献げものは、もともと創造主のものだということを確認する

1歴代誌29:14

E. 献げものを献げる、私たちの心がどうであるかが問われる

1歴代誌29:17

F. 主は、自発的に、あふれるほどベストを尽くして献げる人を求めておられる
1歴代誌29:5

G. 献げものを献げた後、心を主にしっかりと向ける
1歴代誌29:18

III. 聖別献金の恵み

A. トーマス・ケインの実験
マラキ3:9-10

B. パンフレットの作成

C. パンフレットを読んだ人々の反応
1917年には「信徒協会」という組織が結成された
ケイン氏が出版したパンフレットは、増補改訂が次々となされていった

D. 聖別献金をしてみた人々の例
チャールズ・ページ

事業に失敗して、十万ドルの負債を抱え込むことになった人
創世記28章22節

一人の15才になる少年の実話

要約と結論

正しく管理することができるよう、また自分の持っている富が、実際は創造主のものだと自覚するため、主に一部を聖別し、献げるよう主は勧めておられる
献げる際の特徴的に大切な原則が七つあった
その内の一つは、"強いられてではなく、喜んで自ら、進んで献げる"という原則である

アクション・ポイント(生活への適用)

1. 私のいのち、とき、とみ、そしてとりえ、とくぎを始めとして、私は自分の持っているものが全て、創造主よりお預かりしているものだという自覚が私にはあるでしょうか。
2. 主は、自発的に、あふれるほどベストを尽くして献げる人を求めておられます。あなたは主イエスさまの福音が、人々に宣べ伝えられる働きのために、進んで自分を献げたいと思っていますか。あなたはご自分の富の管理についてどう思いますか。

3. 私たちは旧約聖書の時代に生きているわけではありませんので、十分の一にこだわる必要はありませんが、自ら進んで、喜んで、主から任されている富の中から聖別し、主の御業のためにまごころから、精一杯献金いたしましょう。

4. 主に献げものをする際、七つの特徴的に大切な原則があります。それら一つ一つについて黙想しましょう。その七つの中で、あなたは自分にとって必要だと思わされることがありますか。どのようなことですか。他の人と語り合ってみましょう。

(C)2012 BJAPAN All Rights Reserved.